

令和7年度 第2回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和7年10月30日(木) 18時00分～19時30分
場 所	桜島支所2階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 ① 令和7年度の事業の進捗報告 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 ・デジタル化による生活利便性の向上 ② 令和8年度 of 取組 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 ・デジタル化による生活利便性の向上 ・桜島の魅力体感コンテンツの創出
主な意見等	① 令和7年度の事業の進捗報告 【各委員からの意見】 ○ 長期滞在施設「iko てらす」の利用者で桜島に移住したいという方がいた。そのような話があったことはうれしい。今後、桜島で何かしたいという人が関心を持って利用できるような進めていきたい。 ○ iko てらすがきっかけで、周辺に2軒の宿の計画があり、1軒は既にオープンした。この広がりが大きくなっていくとよい。 ○ フリーダイビングの国際大会のダイバーが来年5～6月来られるようにがんばっていききたい。 ○ フリーダイビングの関係者が地域のお店を訪れており、少なからず影響はあったと思う。 ○ 「さくら市」はすごく良いイベントとの声もあり、遠方から来る方やお店へのリピーターもいる一方、集客や会場レイアウトの面で反省点もあったので改善していければよい。開催も頻繁にできて、個人の事業者や飲食以外の事業者も参加できたらよい。 ○ スマホ教室は昨年より人数が少ないと感じるが、誰か行けば自分も一緒に行くといい人は多いと思う。 ② 令和8年度の取組 【各委員からの意見】 ○ 農業の六次産業化については、自分も桜島でコーヒーを仕込んでおり、販売まで実現させたいと思っている。今後、いろいろな農産物の栽培が進んでいくと思うが、時間とお金がかかる。みなさんの意見や支所の支援が必要だと思う。 ○ 桜島産のものはよく売れる。売れるのはありがたい反面、いつお客様が来なくなるのだろうという心配もある。今はお客様が多いので新作を出す時間もない。 ○ 売れ筋としては、小みかん関係はよく売れている。乾燥大根などは生でないので持ち運びによく、売れている。 ○ 単価が上がっているのでも売り上げとしては上がっているが、人件費などの経費も上がっているのでも、収支はどうなのだろう。 ○ 県外から来た方が、「桜島は品物や数は多い。また来たい。」と言っていた。桜島には何も無いと言われなくてよかった。 ○ 桜島フェリーの改札口が団体や観光客が多い時は混雑する。外国の方にもわかりやすくした方がよい。 ○ 桜島フェリーターミナルの観光案内所が目立たないところにあるので、外国の方などに対応するため、改札口のところに立って案内があったらよい。

- フリーダイビングの人たちは、桜島に滞在する際に空いている時間があるので、その時間を有効的に使って、時給をもらいながら地域の手伝いができればいいと思う。
- 京都や東京で既に取り組のある「宿泊税」の環境整備をして、マルシェの経費などを賄えればいいと思う。

【地域活性化アドバイザー】

- 桜島地域は地域の人が自走できそうな取組をしている。既に自走の取組もあるので、これを継続していただけたらよい。
- 地域の事業者がここまで一緒になって取り組んでいるのはすごい。今後は、島外や市外から依頼があった時に、出かけて行ってマルシェができるようになるとうい。
- スマホ教室は、ひとりひとりが困っている事や悩みが違うので、ほぼマンツーマン形式になる。教える側の人数も考えると、今ぐらいの人数がちょうどよいのではないかと思う。
- 農業の六次産業化は設備投資などもあり難しい取組。活用できる補助金等もあると思うので支所に相談いただければと思う。イオンにおいても、桜島のものはまだまだ伸びるが、数が足りないというのは残念。
- 空き家の改修もうまくいっており、成功事例の1つ。地域で伴走していくことが大切。